



単元のめあて 地図から、たくさんの水道水が家庭にどこからどのようにして送られてきているのかを調べる。

学習の流れ ※赤字 タブレット活用時間

- ① たくさんの水道水がどこから送られてきているか地図を見て予想する。
- ② 琵琶湖から水が送られてきていることを知り、琵琶湖から家庭に届くまでの道筋を調べる。
- ③ 教科書・地図や資料を基に、水道水が送られてくる過程をまとめ、プレゼンテーションを作成する。
- ④ 作成したプレゼンテーションを発表する。
- ⑤ 水道水が送られてくる過程を全体で確認する。
- ⑥ 学習の振り返りをする。

☆タブレット活用☆

- ・ロイロノートスクールを使い、地図や資料に気付いたことやわかったことを書き込む。
 プレゼン内容：教科書・地図や写真資料を使って「琵琶湖→取水口→浄水場→家庭」のような水が通る道筋をスライドにまとめていく。
- ・出来上がったクイズは教員へ提出する。

☆タブレット活用のメリット☆

- ・操作が簡単で、修正もすぐにできるので地図や資料に書き込みながら話し合い活動ができる。
- ・作成したプレゼンテーションが資料となり全体交流での確認にも使える。
- ・提出されたスライドを確認することで評価ができる。